



令和5年9月4日
統合幕僚監部

(お知らせ)

ロシア海軍艦艇の動向について

海上自衛隊は、令和5年8月19日（土）から30日（水）に引き続き、30日（水）午後7時頃、伊豆諸島の大島（東京都）の東約60kmの海域において、同海域を北東進するロシア海軍ヴィシニャ級情報収集艦1隻（艦番号「208」）を確認した。

その後、当該艦艇が、30日（水）から9月1日（金）にかけて、房総半島沖から三陸沖にかけての接続水域内を含む海域を北上した後、2日（土）から3日（日）にかけて、釧路沖の接続水域内を北東進したことを確認した。

なお、当該艦艇は8月19日（土）に津軽海峡を東進し、20日（日）から25日（金）にかけて、三陸沖から房総半島沖にかけての接続水域内を含む海域を南下した後、犬吠埼（千葉県）南の接続水域を出域し、南西進し、27日（日）から28日（月）にかけて、種子島東の接続水域内を南下した後、種子島南東の接続水域を出域し、北東進し、28日（月）から29日（火）にかけて、種子島沖から八丈島沖にかけての海域を北東進した後、30日（水）に、御蔵島と八丈島との間の海域を北東進したものと同一である。

防衛省・自衛隊は、海上自衛隊横須賀警備隊所属「えんしゅう」（横須賀）、第45掃海隊所属「いずしま」（函館）、第4航空群所属「P-1」（厚木）及び第2航空群所属「P-3C」（八戸）により、警戒監視・情報収集を行った。

ヴィンニャ級情報収集艦 (艦番号「208」)



行動概要

